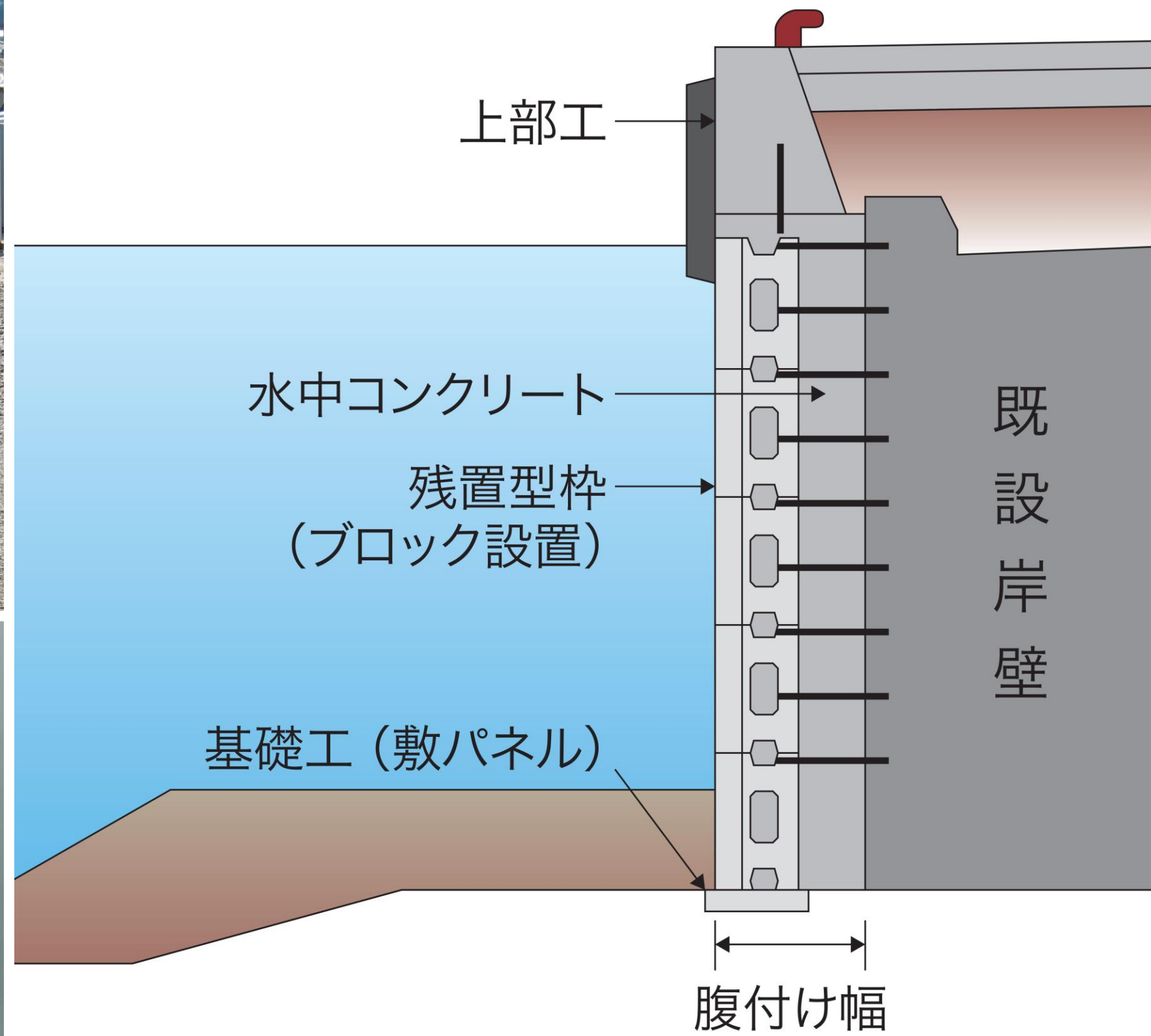




特別賞

PCa残置型枠

据付



残置型枠工法概要図

据付(最上段)

完成

水産基盤等
分野

働き方改革と安全度の向上に寄与する残置型枠工法 「プレキャストコンクリート製残置型枠工法」による漁港施設の長寿命化対策

取組概要

プレキャストコンクリート製残置型枠工法は、漁港施設の性能維持・改善または向上のために実施される「腹付け工」を、より効率的かつ安全に施工する技術である。従来工法である鋼製型枠の課題を解決するとともに、工期の短縮と計画的施工により働き方改革を推進し、作業者安全度の向上に寄与する標準工法として開発した。

受賞理由

プレキャストコンクリートブロックを残置型枠として用いることで、従来技術である鋼製型枠と比べ、型枠撤去作業が不要となるため工期短縮が可能となるとともに、打設コンクリート幅を狭くすることが可能となり、経済性が向上した。さらに型枠内（閉塞空間）での潜水作業や組立時の高所作業が解消されることによる作業の安全性向上が評価された。

取組のポイント

残置型枠工法の活用により、鋼製型枠による従来工法に比べ以下の効果がある。

- ①日当り施工量の増加：施工作业が標準化されるので、日当り施工量が増加し工期が短縮。
- ②作業工程の合理化：型枠の整備スペースと整備作業、施工後の撤去作業が不要。
- ③作業安全度の向上：潜水士は型枠上部の開放空間で作業。型枠組立の高所作業が無い。
- ④経済性の向上：腹付け幅1.0m未満でも施工可能で生コン量を低減。各段施工で重機規格を低減。
- ⑤漁港利用の合理化：泊地の面積減少を最少とする。係留等の供用制限期間を短縮。

受賞者について



受賞者

(写真左上から順に)

漁港プレキャスト工法研究会
青森県
大分県
野崎建設工業株式会社
株式会社菅組
丸栄コンクリート工業株式会社
共和コンクリート工業株式会社

川上 洵
花田 高志
工藤 克樹
張摩 順也
松浦 慶造
那須 将弘
牛田 久喜

コメント

この度は、当研究会の取り組みが特別賞として評価されたこと、大変光栄に存じます。本工法がより一層採用いただけるよう鋭意活動して参ります。

団体概要

漁港工事の安全性と計画性確保の観点から、関係団体等が結集し、工法の普及活動を進めています。

また、現場の「働き方改革」「生産性向上」などの課題の解決策として活用いただけるように、本工法の「設計・施工ガイドライン（案）」および「積算参考資料（案）」を策定しました。

問い合わせ先

漁港プレキャスト工法研究会
(一般社団法人全日本漁港建設協会内)
03-6661-1155/info@zengyoken.jp